

高山の文化

No.140 2013.4.5 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会 発行



高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877
 メールアドレス ●mail@takayama-bunka.org
 ホームページアドレス ●http://www.takayama-bunka.org
 (文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)

●**道伝えの日茶会・飾り物展**
 高山市文化伝承館で、四月二十七日(土)・二十八日(日)に、道伝え茶会を開きます。また、両日の午前十時から午後四時までの間、今年の干支「巳」と歌会始の勅題「立」をテーマにした「飾り物展」の入賞作品十二点を展示します。新緑の眩しい城山に、至福のひと時を過ごしませんか。道伝え茶会
 ・二十七日(土)
 抹茶席(裏千家淡交会)
 ・二十八日(日)
 煎茶席(松風流泉月会)
 いずれも午前十時～午後四時(午後三時までに入席)。三百円の呈茶券は高山市民文

●**由紀さおりコンサート2013**
 ～夜明けのスカット～
 六月一日(土)～二日(日) 文化会館・全館
 ●**音楽劇「走れメロス」**
 五月二十五日(土) 文化会館・小ホール
 ●**二人芝居「完全姉妹」**
 五月二十三日(木) 文化会館・小ホール
 ●**マイコレクション展PART X**
 十月十九日(土)～二十日(日) 文化会館・二階
 ●**道伝えの日芭蕉忌句会**
 十一月十六日(土) 文化伝承館
 ●**新年市民互礼会・文化**
 一月一日(水) 功労者顕彰
 一月一日(水) 高山グリーンホテル
 ●**平成二十六年飾り物展**
 一月十七日(金)～十九日(日) 文化会館
 ●**第二十回近代文学館企画展**
 二月十五日(土)～十六日(日) 高山市図書館「煥章館」

高山市文化協会 会員募集

～どなたでも入会できます～

高山市文化協会は、芸術・学術の普及と向上に関する事業を実施し、会員の皆様とともに地域の文化振興と発展に寄与することを目的として設立されている一般社団法人です。この趣旨にご賛同いただき、ぜひご入会ください。

●年会費
 ・個人 3,000円
 ・団体 6,000円
 ・賛助会員(企業) 10,000円
 なお、文化協会の会員は、自動的に「高山メセナメイト」の会員資格も得られ、芸術鑑賞事業等の公演チケットを割引料金でお求めいただけるなどの特典があります。

◆高山市文化協会の歩み

当協会は、戦後間もない昭和24年に発足しました。まだ、食糧や物資が不足し、日々の暮らしに追われていた時代に、文化の向上を図ろうとする人々が集い、高い志を持って立ち上げた組織です。発足1年目には、すでに文化祭、教養講座、講演会、新年互礼会など、高山市の文化振興の核となって活動してまいりました。その後も、文芸祭の開催、文学碑の建立、文化会館の建設推進に尽力するなどの事業を実施し、平成元年には、全国に先駆けて協会組織を法人化し、運営基盤をより強固なものにしました。また、最近では、ユネスコ世界文化遺産登録に向けた活動、文化会館や文化伝承館等の指定管理の受託、近代文学館企画展や飾り物展の開催など、文化振興に関する幅広い活動を積極的に展開しています。



木版画「四季讃々(山藤)」 大門孝哉

一般社団法人 高山市文化協会発足

国の法改正に伴い、平成二十五年四月一日より、社団法人 高山市文化協会は「一般社団法人」へ移行しました。法人名称は変わりましたが、事業内容等の変更はありません。会員の皆様にはこれまで同様のご支援をお願いいたします。

本年度は、次の事業を予定しています。(◎印：中面、裏面に詳細)

九月八日(日) 文化会館・小ホール
 ●**第十九回近代文学館企画展**
 十月五日(土)～六日(日) 高山市図書館「煥章館」
 ●**道伝えの日お月見歌会**
 十月五日(土) 文化伝承館
 ●**マイコレクション展PART X**
 十月十九日(土)～二十日(日) 文化会館・二階
 ●**道伝えの日芭蕉忌句会**
 十一月十六日(土) 文化伝承館
 ●**新年市民互礼会・文化**
 一月一日(水) 功労者顕彰
 一月一日(水) 高山グリーンホテル
 ●**平成二十六年飾り物展**
 一月十七日(金)～十九日(日) 文化会館
 ●**第二十回近代文学館企画展**
 二月十五日(土)～十六日(日) 高山市図書館「煥章館」

この他にも、各種事業を計画しています。なお、内容は変更する場合があります。詳しくは、広報などで随時お知らせします。

高山市文化芸術鑑賞事業

○主催 高山市 / (一社)高山市文化協会

○問合せ (一社)高山市文化協会(TEL.0577-34-6550)

mail@takayama-bunka.org

由紀さおり コンサート2013 ～夜明けのスカット～

1969年「夜明けのスカット」でデビュー。女優やバラエティなど幅広く活躍。姉、安田祥子と1986年にスタートしたコンサートでは、日本語のもつ美しさや季節のうつろい、命のはかなさを歌った日本の童謡、唱歌をはじめ、日本で生まれた曲の数々、次世代に一曲でも多く残したい、その思いを伝える活動を行っている。

2011年アメリカのジャズオーケストラ、ピンクマルティニとのコラボレーションアルバム「1969」をリリース。世界50か国以上で発売、配信され、iTunes全米ジャズチャートで1位を獲得するなど世界的なヒットとなる。

平成25年 **6月9日(日)** 午後6時30分開演 / 午後6時開場

高山市民文化会館(大ホール) **全席指定**

チケット S席(一般) **6,500円** (メセナメイト会員) **6,000円**
 A席(一般) **5,000円** (メセナメイト会員) **4,500円**
 ※未就学児は、母子観覧席にてご覧いただけます。(枚数限定)
 発売日 **メセナメイト会員：4月6日(土) / 一般：4月7日(日)**
 両日とも午前10時より ○インターネット受付 両日とも午後1時より
 販売所 高山市民文化会館、飛騨市文化交流センター
 コサカ楽器(本店・カルパティオ店)、吉村ミュージックセンター



トム・プロジェクト プロデュース

真野あずさ 真野響子
完全姉妹
 二人芝居

二人の姉妹は、同時に一人の男性を愛した…。姉妹であり、恋敵であり、親友でもある二人は、その前に、わたしではないひとりの女であることに、そろそろ気づきはじめて…。

平成25年 **5月23日(木)**
 午後7時開演 / 午後6時30分開場
 高山市民文化会館(小ホール) **全席指定**

チケット (一般)…………… **2,500円**
 (メセナメイト会員) …… **2,000円**
 (ジュニア) 18才以下 …… **1,000円** ※未就学児入場不可
 販売所 高山市民文化会館、飛騨市文化交流センター

チケット 好評販売中

飛騨高山文化芸術祭 こだま〜れ 2013

Performance Band 響音

走れメロス
 [音楽劇]
 原作：太宰治

太宰治の名作「走れメロス」を主題に、和洋楽器をコラボした音楽とパフォーマンスによる独特の舞台です。

チケット 好評販売中

平成25年 **5月25日(土)**
 午後7時開演 / 午後6時30分開場
 久々野公民館ホール **全席自由**

チケット (一般)…………… **1,500円**
 (メセナメイト会員) …… **1,000円**
 (ジュニア) 18才以下 …… **500円**
 ※未就学児は席使用の場合有料
 販売所 久々野公民館、高山市民文化会館

高山の文化を高めた人々 56

郷土史研究に生涯をささげた
岡村利平

元国府町教育長 酒井松彦

岡村利平は、国府町出身で、医師であるとともに国府村長ほか数々の公職を歴任しながら、郷土史の研究に生涯を捧げ、多くの著書を世に出した人物である。また、和歌や漢詩への造詣が深かったことで知られている。

《生い立ち》

岡村利平は、江戸時代末期の元治元年（一八六四）七月、国府戸長（村長にあたる）を務めた岡村俊平の嫡男として国府町広瀬町に生まれた。生家は、昨年まで旧国府診療所の建物が残っていた場所、更地になった現在もそのことを示す石柱が立っている。利平は現高山市西町に下宿して煥章学校に通い、卒業後は地元の弘文学校に勤務した。その後、明治十五年には国府村戸長役場筆生として採用されている。



岡村利平

第37回 飛騨文芸祭作品募集

飛騨文芸祭の作品を左記のとおり募集します。

- 一、応募資格
 - 飛騨在住者または出身者、もしくは勤務者
- 二、対象作品
 - 小説・戯曲・児童文学等
 - 一篇（四百字詰原稿用紙百枚以内）
 - 随筆（エッセイ）・評論等
 - 一篇（四百字詰原稿用紙二十枚以内）
 - 現代詩 三篇
 - 短歌・俳句 十首（句）

文化フォーラム 2013 芸能と文化展

恒例の高山文化フォーラムを開催いたします。新年歌会始の勅題「立」をテーマに、新たに加わった団体の皆様と共に、芸能・展示の2つの部門で発表を行います。高山の文化の底力を体感できる催しです。お誘いあわせの上、ぜひお出かけください。

- ◇芸能の部
 - 6月1日(土) 小ホール 午後6時開演 舞踊・長唄
 - 6月2日(日) 大ホール 午後1時開演 邦楽・洋楽・バレエなど
- ◇展示の部
 - 6月1日(土)～2日(日) 午前9時半～午後5時(2日は午後4時まで)
 - 版画・写真・生花・盆栽・書道・工芸・文芸など

明治二十二年、二十五歳になった利平は高い志を持って上京し、東京医学専門学校（済世学舎）に入学することとなる。医学課程を修めた後、さっそく帰郷し、明治二十六年、広瀬町において医院（内外科眼科）を開業した。このころから、利平は多方面にわたってその才能を発揮することとなる。

開業医としての実績を重ねながら、広く地域の人々から人望を集め、明治三十二年、国府村選出の郡議会議員に当選した。その翌年には、勸業資本の貸付を行っていた飛騨国開産社から委嘱され、「飛騨史料」の編纂に関わっている。

明治三十七年には県議會議員に当選し、連続四期務めることとなる。その後、国府消防組（現消防団）の初代組頭を務め、明治四十五年には第四代国府村長（県議兼任）に就任し、大正八年十月まで二期八年間務めた。この間、陸軍中將で後に郷土史研究に打ち込んだ押上森蔵らと「飛騨史談会」を設立している。

大正八年、五十六歳になった利平は、公職から身を引く時を同じくして「飛騨史料」の編纂校正に専念した。

昭和六年、岐阜県知事より自治功労者の表彰を受け、その二年後の昭和八年七月、多才かつ多彩であった七十年の生涯を静かに終えたのである。

郷土の詩人・福田夕咲は、飛騨毎日新聞に次の哀悼文を寄せられている。また、昭和二年には、幕末の元治元年（一八六四）から慶応四年・明治元年（一八六八）までの五年分について、『飛騨史料』の編纂に携わったとして出版されている。『飛騨史料』は、学術的にも極めて貴重な歴史資料であることから、昨年度、高山市によって専門的な保存処理が

歌を寄せている。「たのめこし 翁もいまは世にまさで 誰にたづねむ 斐太のふるごと」

《岡村文庫「飛騨史料」》

利平が所蔵していた約千冊の書籍のほか、石器、土器、古瓦などの貴重な資料は、昭和十三年、建坪約四坪の土蔵とともに、遺族から国府村に寄贈された。

寄贈された数々の資料の中で特筆すべきは、利平自身が編纂した『飛騨史料』である。ここには、東京大学史料編纂室へ長年にわたって出入りして調査・研究した内容や、陣屋ほか旧家等から収集した膨大な資料に基づく考証史料が収められている。先史時代から明治二十二年の町村制発布まで、国府に留まらず飛騨全域に関するさまざまな史実等が毛筆で事細かに書かれており、約四万枚に及ぶ大著である。歴史的・文化的な価値も非常に高く、飛騨地域にとって貴重な宝と言えよう。

大正十年には、『飛騨史料』を抜粋要約した『飛騨編年史要』が利平の手によって発刊された。その的確かつ正確な考証内容は、後世の歴史研究者から高く評価され、数多く引用されている。

また、昭和二年には、幕末の元治元年（一八六四）から慶応四年・明治元年（一八六八）までの五年分について、『飛騨史料』の編纂に携わったとして出版されている。『飛騨史料』は、学術的にも極めて貴重な歴史資料であることから、昨年度、高山市によって専門的な保存処理が

高山市昭和三十八年八月十五日（当日消印可）

- 四、締切期日
- 平成二十五年八月十五日（当日消印可）
- 五、送付先
- 〒五〇六・〇〇五三



岡村文庫が収められていた土蔵

施された。また、記述されている内容を学習・研究したいという希望が多いことから、現在、デジタルデータおよび複製本の作成に向けた準備が進められている。

《岡村利平顕彰碑》

利平の多大な功績を顕彰するため、昭和四十三年十一月、明治百年記念事業として「岡村利平顕彰碑」が、国府町の広瀬神社境内に建立された。

また、平成五年八月には、国府史学会主催による没後六十年祭が厳かに斎行された。当日は多くの関係者が偉業を偲んだ後、石原哲弥高山市教育長（当時）より利平の事績について講演が行われている。



顕彰碑（広瀬神社）

高山市昭和三十八年八月十五日（当日消印可）

月日	事業名	内容
毎月開催	理事会・評議員会	
随時開催	三役会・各委員会	
随時	市長と語る会	
随時	国内・国外他都市との文化団体の交流	
通年	高山市近代文学館の研究・調査	高山市近代文学館の研究・調査資料収集
通年	指定管理受託	高山市民文化会館・公民館・高山市文化伝承館・松本家住宅・宮地家住宅 指定管理業務
通年	ユネスコの世界文化遺産登録の運動の推進について	飛騨高山の町並みと祭礼の場をユネスコの世界遺産登録にむけての活動とユネスコ協会の活動と協調
通年	高山市文化協会組織強化	高山市文化協会・メセナメイト会員随時募集
通年	ホームページ	高山市民文化会館・自主事業・文化協会事業案内
通年	自然保護事業の取り組み	自然保護事業の取り組みについて
通年	初心者入門講座の開設継続	初心者入門講座
通年	広報発行 No.140～No.152	月一回程度発行 事業案内・作品募集・事業報告等
随時	高山市文化伝承館「道伝えの日」	高山市文化伝承館
5月下旬	平成25年度定時総会	平成24年度決算総会
5月23日	演劇「完全姉妹」	文化芸術鑑賞事業 小ホール
5月25日	演劇「走れメロス」	文化芸術鑑賞事業 久々野公民館
6月1日～2日	高山文化フォーラム2013	高山市民文化会館 芸能・展示
6月9日	由紀さおりコンサート	文化芸術鑑賞事業 大ホール
6月16日	市民歴史散歩	第13回 市民歴史散歩
7月12日～14日	日本板画院東海支部高山展	高山市民文化会館
7月16日～17日	会員研修旅行	東京・新歌舞伎座と新東京駅
8月23日	文学碑掃苔	文学散歩道整備・清掃
9月8日	昭和町1丁目フォーク長屋	文化芸術鑑賞事業 小ホール
10月5日～6日	第19回 近代文学館企画展	高山市近代文学館 煥章館
10月19日～20日	マイコレクション展 パートX	高山市民文化会館
11月3日	飛騨文芸No.37	第37回飛騨文芸祭入賞作品集発行
平成26年1月1日	新年市民互礼会 文化功労者顕彰 飛騨文芸祭入賞者表彰	会場 高山グリーンホテル
1月17日～19日	飾り物展	高山市民文化会館 4階講堂
2月15日～16日	第20回 近代文学館企画展	高山市近代文学館 煥章館
3月下旬	平成25年度定時総会	平成26年度予算総会

※この他にもいくつかの文化芸術鑑賞事業を予定しています ※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください

「風目（目）」
長い冬が終わった。春だ花だ山だ空だ。下駄でも履いて外へ出よう。
下駄と言えば、昔の山男達は北アルプスに下駄で登ったという人が多いので驚いてしまう。この人達は北アルプスを飛騨山脈と言えと言おう。
高山市町内会連絡協議会の前越哲夫会長は「女物の下駄の方が登り易かった。替えの下駄なんか無くて、割れたら、そんな時そんな時で、裸足でも歩く」とおっしゃった。剛毅じゃありませんか、昔の山男達は。
（ガンモン毛筆）

会員研修旅行 参加者募集

高山市文化協会では、会員を対象とした研修旅行を毎年開催しています。
今回は、このほど完成したばかりの新しい歌舞伎座と、昨年、十年にわたるリニューアル工事を終えた東京駅を訪れます。
歌舞伎座では、歌舞伎公演（演目未定）を一等席にて観劇します。また、屋形船でのご昼食も計画しています。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。
◆日程 七月十六日～十七日（二泊二日）
◆宿泊 都内ホテル（シングル又はツイン）
◆参加費 一名四〇、〇〇〇円（歌舞伎鑑賞料二万円含む、バス料金は協会にて負担）
◆申し込み 四月二十日（土）までに申し込み用紙にて（文化会館窓口で配布）
◆定員 四十名
※協会会員の方のみ申し込み可



歌舞伎座

（一社）高山市文化協会加盟団体
文化協会後援 催事のお知らせ
特別展「横山大観と日本美術院の画家たち」近代日本画界の牽引者
◆場所 光記念館
◆日時 六月四日（火）まで（水曜休館）
◆料金 光記念館の入館料
初心者入門講座
演劇入門講座

高山市昭和三十八年八月十五日（当日消印可）

※この他にもいくつかの文化芸術鑑賞事業を予定しています ※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください